



THE BIG ISSUE Support Live vol.7

2016年10月2日(日) 東京 外苑前 **梅窓院 祖師堂** そしどう

開場 13:30 / 開演 14:00 / 前売:2,500円 / 当日:3,000円 (BIG ISSUE代 350円含)

寺尾紗穂 / マヒトウ・ザ・ピーポー / ソケリッサ! / 原田郁子 / 知久寿焼 / 二階堂和美

座談会 テーマ:「生きること、表現すること」 / 寺尾紗穂、稲葉剛、吉水岳彦、佐野未来、星野智幸、アオキ裕キ、ビッグイシュー販売者、他
炊き出し / 簡単な食事やコーヒーも用意してます

お問合せ・チケット予約(メールのみ): singwithyourneighbors@gmail.com ※梅窓院(会場)へのお問合せはご遠慮ください。

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目26-38 梅窓院 祖師堂 東京メトロ銀座線 外苑前駅下車 1a出口 徒歩1分

HP: <http://singwithyourneighbors2016.jimdo.com> ※駐車場はございません。お車での来場はお控えください。

主催:「THE BIG ISSUE」Support Live vol.7実行委員会 協力:有限会社ビッグイシュー日本 / 認定NPO法人ビッグイシュー基金 / 認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい / 社会慈善委員会ひとさじの会 / 浄土宗 梅窓院

「THE BIG ISSUE」を知っていますか？

ホームレスの人が販売者となり、売り上げの6割ほどがその人の収入になる仕組の雑誌「THE BIG ISSUE」。ホームレスは怠け者、と思ってる人も思っていない人も、ビッグイシューを知らない人も知ってても買う一歩が踏み出せない人も、魅力的なこの雑誌をとにかく一度読んでみて欲しい！そんな思いから出発したイベントです。

会場には若い音楽ファンはもちろん、ビッグイシューの販売者さんもいます、元野宿のおじいちゃんもいます、そういう人びとを支える活動を担ってきた人たち もいます。ぜひ一緒に音楽を楽しみ、一緒に考えましょう。あなたと一緒に明日を謳えたらこんなに嬉しいことはありません。



2009年バンドGEZANを大阪にて結成。作詞作曲をおこないボーカルとして音楽活動開始。
2011年沈黙の次に美しい日々をリリース。全国流通前にして「ele-king」誌などをはじめ各所でソロアーティストとしてインタビューが掲載されるなど注目が集まる。
2014年、kitiより2ndアルバムPOPCOCOON発売。
2014年には青葉市子とのユニットNUUAMMを結成し、アルバムを発売する。
2015年にはpeepowという別名義でラブアルバムDelete CIPYをK-BOMBらと共に制作、BLACK SMOKER recordsにてリリース。
また音楽以外の分野では国内外のアーティストを自身のレーベル、十三月の甲虫でリリースしたり、野外フェスである全感覚祭やZINE展を主催したりとボーダーをまたぎ自由なスタンスで活動している。

マヒトウ・ザ・ピーポー



1975年福岡生まれ。
1995年「クラムボン」を結成。歌と鍵盤を担当。バンド活動と並行してソロ活動も行っており、これまでに「ピアノ」「気配と余韻」「ケモノと魔法」「銀河」、4枚のソロアルバムを発売。
2010年5月には、妹と吉祥寺に多目的スペース「キザム」をオープンさせる。
昨年で結成20周年を迎えたクラムボンは、メジャーレーベルを離れ、自身のレーベルより、流通を通さず、ツアー会場のみで販売されるミニアルバム「モメントe.p.」を発売。新曲を生演奏し、可能な会場すべてでサイン会を行う、初の完全「手売りツアー」を開催した。
現在、公式サイトではCD販売店を募集しており、ジャンルを問わず150以上の店舗が取り扱うなど、ユニークな広がりを見せている。
<http://www.clammbon.com/>

原田郁子



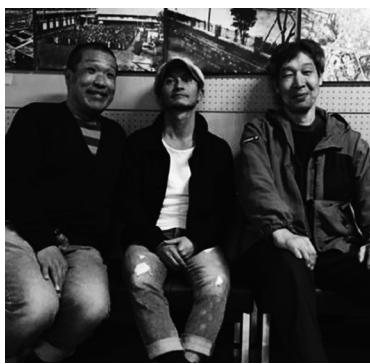
天真爛漫～自由奔放というイメージから神秘的、叙情的、そして時には狂気(!)な雰囲気までも併せ持つシンガー。
大所帯から小編成まで、どんなスタイルでもブレない歌のタフさが、ミュージシャンから子ども、巻のおばちゃんまで、幅広い層から愛されている。
2004年に地元元島へ戻り、現在までに単独作として12作品を発表。中でも全曲を作詞作曲した 2011年発表の『にじみ』がきっかけとなりスタジオジブリ映画『かくや姫の物語』の主題歌(「いのちの記憶」)作詞作曲・歌唱)へ起用されるなど、広く知られることとなるが、当該曲のイメージだけでは、とうてい収まりきらない音楽のふり幅、ライブでの圧倒的なパワーは必見。
現在放送中の「サッポロ一番」のCMでは歌唱とナレーションを担当。地元では、市のイメージソング制作や、中国新聞でのエッセイ連載など、地域に密着した活動も展開中。
初となるライブDVD『二階堂和美 歌のパレード!いつのまにやら15年?』がライブ会場限定で発売中。

二階堂和美



寺尾紗穂

1981年11月7日東京生まれ。2007年ピアノ弾き語りによるアルバム「御身」が各方面で話題になり、坂本龍一や大貫妙子らから賛辞が寄せられる。
大林宣彦監督作品「転校生 さよならあなた」(2007)、安藤桃子監督作品「0.5ミリ」(安藤サクラ主演・2014)、中村真夕監督作品「ナオトひとりっきり」(2015)に主題歌を提供しているほかCMやナレーション、エッセイやブログなどの分野でも活躍。
2015年3月にアルバム「橋の夢」を発表。
路上生活経験者による舞踏グループ、ソケリッサとの全国13箇所をまわる「橋の夢ツアー」を行う他、2010年より毎年青山梅窓院にてビッグイシューを応援する音楽イベント「りんりんふす」を主催。
著書に「評伝 川島芳子」(文春新書)、「原発労働者」(講談社現代新書)、戦前のサイパンに暮らした人々に取材した「南洋と私」(リトルモア)などがある。
現在は本の雑誌社ウェブにて「私の好きなわらべうた」、平凡社ウェブにて「山姥のいるところ」、「すばる」(集英社)にて「あのころのバラオをさがして」、高知新聞にて「時には旅に」、資生堂花椿ウェブで「銀座時空散歩」を連載中。8月リリースの最新アルバム「私の好きなわらべうた」では、日本各地で消えつつあるわらべうたの名曲を発掘、独自のアレンジを試みている。



ソケリッサ!

演出を行うダンサー・振付家アオキ裕キが「生きることに日々向き合う身体」を求め路上生活経験を持つ参加者を集めた活動。
2005年よりビッグイシュー基金の協力のもとメンバーを募り、第一回公演「新人Hソケリッサ!」を2007年に行う。十和田市現代美術館、大野一雄フェスティバルに出演。慶応大学など学生へ向けての講演、寿町の幼稚園などにおいて子供たちへ向けたパフォーマンスまで多様な活動を行う。
2015年にシンガー寺尾紗穂さんとコラボレーション、クラウドファンディングで集まった寄付により日本全国13ヶ所でのツアーが実現。身体記憶を生かした動きから見える景色、路上生活経験の身体による芸術活動の展開は、社会性を含んだ幅広い可能性を持ち大きく注目されている。



知久寿焼

ギター、ウクレレ弾き語り。地味なテンポでさびしい歌ばかりうたう。
1965年2月10日埼玉県川口市生まれ。
2003年バンド「たま」解散。
へっぽこオーケストラバンド「バスカルズ」ウクレレ、口琴担当。

